



個別指導塾フォルテ

×



さんすう

3年生

第2節

わり算のきほん

【例題1】わり算を使ってみましょう！

ゼルビーは、ゼルビア鉛筆18本を6人の友だちに同じ数ずつ配ることにしました。1人分は何本になりますか？

解き方 [A~Bをうめてみよう]

同じ数ずつ分けるときは、「わり算」という計算を使います。

記号は「÷」を使います。

この場合、式は [ A ] ÷ 6 になります。

このわり算の答えは、

かけ算の式 [ B ] × 6 = [ A ] の

[ B ] にあてはまる数になります。

[ B ] の数字は、6のだんの九九で見つかります。

よって答えは、[ B ] 本になります。



答え

[A] 18 [B] 3

【例題2】0や1のわり算をやってみましょう！

① 0 ÷ 6

② 5 ÷ 1

解き方 [A~Bをうめてみよう]

① 答えは 6 × [ A ] = 0 の

[ A ] にあてはまる数

② 答えは 1 × [ B ] = 5 の

[ B ] にあてはまる数



わられる数が0で、わる数が0以外のとき、答えは0。  
わる数が1のとき、答えはわられる数と同じ。  
わられる数とわる数が同じとき、答えは1になります。

答え

[A] 0 [B] 5

**わり算を使って計算してみよう！**


① 32このおやつを、8人で同じ数ずつわけるとき、1人分は何こになりますか？  
💡 【例題1】を参考に考えてみよう！



② 54dLのスポーツドリンクを、9dLずつコップに分けます。コップは何こいりますか？  
💡 【例題1】を参考に考えてみよう！



③ 36まいのビブスを配ります。  
(A) 1人に4まいずつ配るとき、何人にビブスを配ることができますか？  
(B) 6人に同じ数ずつ配るとき、1人何まいになりますか？  
💡 【例題1】を参考に考えてみよう！



(A)

(B)

④ 計算をしましょう。  
(A)  $45 \div 5$       (B)  $49 \div 7$   
💡 何だんの九九を使えばうまくいくかな？

(A)

(B)

⑤ 計算をしましょう。  
(C)  $9 \div 1$       (D)  $2 \div 2$   
💡 【例題2】を参考に考えてみよう！

(C)

(D)

## 【コラム】 わり算の記号

第2節では、わり算の時には「÷」という記号を使用すると学習したね。

この記号は、1659年にスイスのラーンという数学者がはじめて使い、  
今でもアメリカやイギリス、日本などで広く使われているよ。

でも、実はわり算の時に「÷」以外の記号を使っている国も多いんだ。

たとえば、ドイツやフランスなどでは、「:」がよく使われている。

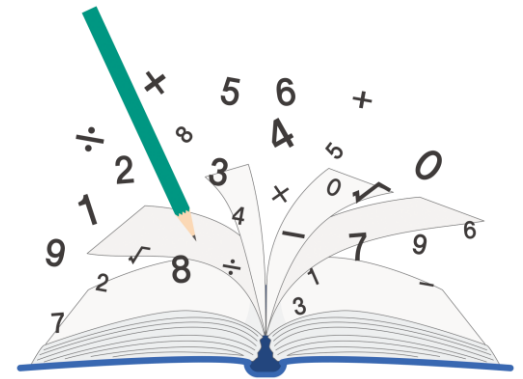
これは、17世紀のドイツの数学者、ライプニッツがよく使ったからだとされているよ。

また、世界共通のわり算の記号としては「/」がよく知られているよ。

コンピュータでわり算を入力するときなどは、この記号が使われることが多いよ。

このように、わり算の記号としては、「÷」「:」「/」というように、多くの表し方があるよ。

わり算だけでなく、足し算、引き算、かけ算にもおもしろい歴史があるから、自分で調べてみよう!



① 計算してみよう！

(1)

$12 \div 2$

(2)

$35 \div 7$

(3)

$3 \div 1$

(4)

$0 \div 3$

(5)

$28 \div 4$

(6)

$6 \div 6$

答え

答え

答え

答え

答え

答え

② ゼルビーは、72ページある本を1日に9ページずつ読み進めます。

何日で本を全部読み終えることができますか？

計算式

答え



③ ゼルビーが2人の友だちとカードゲームをしています。

そこに友だちがもう1人やってきて、合計4人でカードゲームをすることにしました。

もといた3人は8枚ずつカードを持っていましたが、ゼルビーが1度すべてのカードを集めて、4人に同じ数ずつ配りなおしました。その後、1人が持っているカードの数は何まいになるでしょう？



計算式

答え

④ 計算式が  $30 \div 6$  の式になる問題を自由に作りましょう。

問題文